

## 国際大ダム会議第 94 回年次例会（メキシコ・グアダラハラ）参加募集案内

2026 年 5 月 23 日（土）から 5 月 29 日（金）の 7 日間にわたり国際大ダム会議（ICOLD）第 94 回年次例会がメキシコのグアダラハラで開催されます。開催概要は下記の通りです。年次例会参加希望者は各自でオンライン登録を行っていただきますが、JCOLD 事務局で登録・送金を代行することも可能です。後述の「12. 参加登録手続き方法」に従ってお手続きください。本案内は ICOLD2026 ウェブサイトの情報を基に作成しております。最新の情報はウェブサイトをご確認ください。

ICOLD2026 ウェブサイト：<https://www.icoldmexico2026.com/en>



全体プログラム

会場： the iconic Expo Guadalajara

| 日 付       | 午前                                                                     | 午後                                 | 夕刻               |
|-----------|------------------------------------------------------------------------|------------------------------------|------------------|
| ～5 月 20 日 | プレスタディーツアー（メキシコシティ）                                                    |                                    |                  |
| 21 日（木）   | ・ 鉱滓ダムに関する講習会（1 日目）<br>・ ICOLD 役員会議                                    |                                    | 役員・組織委員会夕食会      |
| 22 日（金）   | 鉱滓ダムに関する講習会（2 日目）                                                      |                                    |                  |
|           | ・ ICOLD 役員会議<br>・ 現地登録                                                 | ・ 技術委員会 委員長会議<br>・ 現地登録            | 役員・技術委員長・副委員長夕食会 |
| 23 日（土）   | ・ ICOLD 技術委員会ワークショップ<br>・ 現地登録<br>・ シティツアー（午前・午後）                      |                                    |                  |
| 24 日（日）   | ・ ICOLD 技術委員会<br>・ 現地登録<br>・ シティツアー（午前・午後）                             |                                    | 若手技術者交流会         |
|           |                                                                        | ・ 若手技術者フォーラム<br>・ 地域クラブ<br>・ 仏語圏会議 |                  |
| 25 日（月）   | ・ 全体セッション / 基調講演<br>・ 技術展示会開会式                                         | ・ 国際シンポジウム<br>・ 技術展示会              | 歓迎会（@展示会場）       |
| 26 日（火）   | ・ 国際シンポジウム<br>・ 文化体験ツアー（テキーラツアー クエルボ・ワールド）<br>・ 技術展示会                  |                                    | 文化行事             |
| 27 日（水）   | ・ 国際シンポジウム<br>・ 文化体験ツアー（トラケパケ アルチザン（職人）の道）<br>・ 技術展示会                  |                                    | 日本人会             |
| 28 日（木）   | ・ 総会<br>・ ワークショップ<br>・ 文化体験ツアー（チャパラとアヒヒク 漁師のふるさと）<br>・ 技術見学会（ラ・イエスカダム） |                                    | 送別会              |
|           | ・ 技術展示会                                                                | ・ 閉会式                              |                  |
| 29 日（金）   | ・ ワークショップ<br>・ 技術見学会（ラ・イエスカダム）                                         |                                    |                  |
| 5 月 30 日～ | ポストスタディーツアー（詳細未定）                                                      |                                    |                  |

## 1. 参加登録料

通貨単位は米ドル（USD、**16%VAT** 込、括弧内換算円）です。

2025 年 10 月 10 日現在のみずほ銀行送金レートは 1 USD=154.10 円

|                    | 一般<br>(36 歳以上)                        | 若手(35 歳以下)、学生*1  | シンポジウム           | 同伴者               |
|--------------------|---------------------------------------|------------------|------------------|-------------------|
| 早割登録（～2025. 12.31） | 1,450<br>(223,445)                    | 696<br>(107,254) | 696<br>(107,254) | 406<br>(62,565)   |
| 通常登録（2026.1.1～）    | 1,740<br>(268,134)                    | 870<br>(134,067) | 812<br>(125,129) | 487.2<br>(75,292) |
| 技術見学会              | 早割 USD203(31,282)、通常 USD243.6(37,539) |                  |                  |                   |

### 【キャンセルポリシー】

下記期日までにメキシコ大ダム会議事務局（[info@tecnoregistro.com.mx](mailto:info@tecnoregistro.com.mx)）に登録をキャンセルする旨を伝えてください。

2026 年 2 月 26 日まで： 全額返金 以降は返金不可

## 2. 講習会

5 月 21 日（木）、22 日（金）に講習会が有料にて開催されます。

本講習会では、鉱滓貯留施設の設計、建設、運用、閉鎖に関する全体像をわかりやすく解説します。特に安全性、革新性、持続可能性に重点を置いた集中プログラムであり、鉱業や水理分野の国際的な専門家及び実務者が一堂に会し、経験や最新の手法、国際的な管理基準について紹介します。

講習会を通じて、参加者は地盤工学や水理工学の基本原理を鉱滓施設管理に応用する方法、さまざまな建設工法、計測機器や安定性モニタリング、さらに環境管理や責任ある閉鎖戦略について理解を深めることができます。

本講習会では、国際的な事例研究や過去の事故から得た教訓、及び ICOLD や「鉱滓施設管理に関する国際業界規格（Global Industry Standard on Tailings Management）」などが推進する広く推奨されている優良事例の導入についても取り上げます。

本講習会には、技術者、研究者、コンサルタント、規制当局、ダム管理者を対象としており、技術力の強化と、鉱業界における予防・透明性・持続可能性を柱とする文化の推進を目的としています。

目的： 本プログラムは、参加者が国際的な安全性・効率性・持続可能性の向上に寄与するための、実践的かつ学際的な最先端知識を修得することを目的としています。

開催されるコースは以下の通りです。参加には事前登録が必要です。

### コース 1 盛土・基礎・埋戻し材料の特性評価におけるベーンせん断試験の最新動向と今後の展望

参加料： 早割 USD290(44,689) 通常 USD348(53,627)

内容： ベーンせん断試験装置は、粘土における原位置試験として広く使用されてきており、近年では鉱滓ダムにおいても、非排水せん断強度の特性評価と挙動把握のために活用が進んでいます。しかしながら、特に鉱滓ダムやシルト質砂においては、ベーンせん断試験の実施およびその結果の解釈には多くの課題があります。

このような背景から、ICOLD では、粘土および鉱滓ダムにおけるベーンせん断試験の利用に関するワーキンググループが設置されており、本講習会では同グループによる調査結果を報告します。また、参加者が自身の見解や実務での経験を共有できる場も設けられています。

さらに、ベーンせん断試験装置の次なる進化として、ベーン挿入および回転時に間隙水圧を測定できる技術の開発が進められています。この情報により、試験時の排水条件（排水・非排水・部分排水）を判別する手がかりとなるほか、対象土の脆性性についての理解を深める

ことも可能です。この新たな試験ツールは現在開発中であり、ICOLD のワーキンググループでは 2024 年からこのコンセプトについて検討を進めています。当該研究の概要、考察結果、得られた知見および直面している課題についても発表が行われる予定であり、参加者は、今後の技術開発および研究の進め方に対して意見を述べる機会が与えられます。なお、本講習会は、コース 2 の斜面安定性パート 3 講習会とも連携しています。

#### 講師

Andy Small (Klohn Crippen Berger)  
Yasmin Byrne (ConeTec)  
Jason Dejong (University of California, Davis)  
Andy Fourie (University of Western Australia)  
Mason Gafghazi (University of Toronto)  
Scott Olson (University of Illinois)  
Luis Torres Cruz (University of British Columbia)

#### コース 2 斜面安定性 パート 3

参加料： 早割 USD290(44,689) 通常 348(53,627)

内容： 本講習会は、これまでに ICOLD が実施してきた「斜面安定性」に関するトレーニング（パート 1 及び 2）を基礎として構成されます。

パート 1 では、収縮性土を用いたダムにおける斜面安定性の基本概念が説明され、パート 2 では、安全率の基準を満たさないダムの安定性を評価するための手法が紹介されました。パート 3 では、標準的な安全率を下回るダムの斜面安定性評価において、新たな視点や手法が検討され、脆弱性評価の項目も盛り込まれています。

この講習会は、2026 年 3 月に開催予定の第 2 回 SMIG シンポジウムで実施される「斜面安定性講習会」の内容を拡張したものとなります。

また、本講習会にはパート 3 のトレーニング向けに選定された基調講演者が登壇予定です。

#### 講師

Andy Small (Klohn Crippen Berger)  
Paul Ridlen (Knight Piesold)  
Alejo Sfriso (SRK)

#### 3. 技術委員会、技術委員会ワークショップ

技術委員会及び技術委員会ワークショップは下記の日程で開催されます。参加費は登録料に含まれています。

技術委員会ワークショップ： 5 月 23 日（土） 技術委員以外の方も参加できます。

技術委員会： 5 月 24 日（日） 技術委員以外の方もオブザーバー参加できます。

#### 技術委員会及び日本からの委員一覧

| 区分 | 委員会名                  | 氏 名   | 所 属                         |
|----|-----------------------|-------|-----------------------------|
| A  | ダム解析設計における<br>計算問題委員会 | 森 貴信  | 日本工営株式会社                    |
| B  | ダム設計における地震問題委員会       | 佐々木 隆 | 一般財団法人ダム技術センター              |
| C  | ダム水理委員会               | 酒井 匠  | 株式会社建設技術研究所                 |
| D  | コンクリートダム委員会           | 山口 嘉一 | 一般財団法人ダム技術センター              |
| E  | フィルダム委員会              | 田頭 秀和 | 国立研究開発法人農業・食品産業技術<br>総合研究機構 |
| F  | 水資源計画エンジニアリング委員会      | (調整中) |                             |
| G  | 環境委員会                 | 中込 淳  | 一般財団法人水源地環境センター             |

|     |                                      |       |                      |
|-----|--------------------------------------|-------|----------------------|
|     |                                      | 福田 悠太 | 日本工営株式会社             |
| H   | ダム安全委員会                              | 津田 守正 | 独立行政法人水資源機構          |
| HWS | 歴史的水利構造物（水利遺産）                       | 井上 一哉 | 神戸大学大学院              |
|     |                                      | 川崎 秀明 | 特定非営利活動法人風土工学デザイン研究所 |
| I   | 平時と緊急時の<br>公衆の安全管理委員会                | 市原 裕之 | 独立行政法人水資源機構          |
| J   | 貯水池堆砂委員会                             | 佐藤 正俊 | 中部電力株式会社             |
|     |                                      | 角 哲也  | 京都大学 防災研究所           |
| K   | 水力発電統合運用委員会                          | 中島 洋  | 関西電力株式会社             |
| L   | 鉱さいダム委員会                             | (不参加) |                      |
| LE  | 堤防委員会                                | 森 啓年  | 山口大学工学部              |
| M   | ダム運用・維持及び補修委員会                       | 吉村 健  | 九州電力株式会社             |
| N   | 啓発・教育委員会                             | 杉山 弘泰 | 電源開発株式会社             |
| O   | ダム台帳・文書委員会                           | 柏柳 正之 | 電源開発株式会社             |
| P   | セメント混合材料ダム委員会                        | 安田 成夫 | 一般財団法人ダム技術センター       |
| Q   | ダム監視委員会                              | 恒川 明伸 | 東京電力ホールディングス株式会社     |
| RE  | 貯水池水没移転委員会                           | (不参加) |                      |
| S   | ダムの安全のための洪水評価委員会                     | 水橋雄太郎 | 電源開発株式会社             |
| T   | ダムの将来見通しと課題委員会                       | 福田 忠弘 | 日本工営株式会社             |
| TRS | 風化熱帯土に関する委員会                         | (不参加) |                      |
| U   | ダム及び河川流域の管理委員会                       | (不参加) |                      |
| V   | 水理機械委員会                              | 山本 浩樹 | 八千代エンジニアリング株式会社      |
| X   | 財務・諮問委員会                             | (不参加) |                      |
| Y   | 地球気候変動とダム委員会                         | 筒井 純一 | 一般財団法人電力中央研究所        |
| Z   | 技術者能力向上とダム委員会                        | (不参加) |                      |
| ZA1 | エネルギー転換と気候変動における<br>ダムの役割に関する国際宣言委員会 | (不参加) |                      |
| ZA2 | 性別ダイバーシティ&<br>インクルージョン委員会            | (不参加) |                      |
| ZX2 | 若手技術者集会                              | 笹木 悠佑 | 八千代エンジニアリング株式会社      |

#### 4. 技術見学会

5月28日（木）及び29日（金）に以下の技術見学会が有料で用意されています。参加するには事前登録が必要です。

詳細：<https://www.icoldmexico2026.com/copia-de-tours>

コース名： ラ・イエスカダム見学とテキーラ視察

日時： 5月28日（木）、29日（金）7:00～18:30

参加料： 早割:USD203(31,282)、通常:USD243(37,446)

ラ・イエスカダム・水力発電所は、ナヤリット州のラ・イエスカとハリスコ州のオストティパキージョの両自治体にまたがるサンティアゴ川（リオ・グランデ・デ・サンティアゴ）に

位置しています。貯水池の容量は約 13.92 億 m<sup>3</sup>で、最大 750MW の発電能力を持っています。このプロジェクトは、アグアミルパダムとエル・カホンダムから成るリオ・グランデ・サンティアゴ水循環システムの一部として組み込まれています。建設期間中には直接雇用 5,000 人、間接雇用 5,000 人の計 10,000 人の雇用が創出されました。これらプロジェクトは全体として 4,300MW の発電能力を有し、国内の既存の 12,000MW の電力供給に追加されます。

また、このダム（堤高 220m）は世界で 5 本の指に入る高さを持つダムの一つであり、カザフスタンのヌレクダム（高さ 300m）やスイスのグラン・ディクセンスダム（高さ 285m）と並ぶ高さを誇っています。

ダムの視察後はテキーラを訪れます（6(3)参照）。

## 5. 国際シンポジウム

5 月 25 日（月）～27 日（水）に国際シンポジウムが開催されます。シンポジウムのテーマは以下の通りです。

### (1) メインテーマ

**Water, Energy, and Society: The Evolving Role of Dams in a Changing World**

水とエネルギーと社会：変わりゆく世界の中で進化し続けるダムの役割

### (2) サブテーマ

| 原文                                                                         | 和訳                      |
|----------------------------------------------------------------------------|-------------------------|
| 1. Water Planning, Water Management, and Climate Resilience                | 水資源計画、水資源管理、及び気候変動への適応力 |
| 2. Dam Safety Policy and Governance                                        | ダム安全政策とガバナンス            |
| 3. Dam Construction and Rehabilitation: Innovation and Lifecycle Extension | ダムの建設と修復：技術革新及び長寿命化     |
| 4. Dam Performance Monitoring                                              | ダムの性能の監視                |
| 5. Flood Resiliency in Developed and Developing Countries                  | 開発国と開発途上国における洪水耐性       |
| 6. Sedimentation Management and Reservoir Longevity                        | 堆砂対策と貯水池の長寿命化           |
| 7. Fish Passage, Biodiversity and Environmental Integration                | 魚道整備、生物多様性と環境保全への統合     |
| 8. Community Engagement in Dam Development                                 | ダム開発における地域住民の参画         |
| 9. Tailings Dam Safety                                                     | 鉱滓ダムの安全                 |
| 10. Dam Decommissioning and Removal                                        | ダムの廃止と撤去                |

## 6. ワークショップ

5 月 28 日（木）～29 日（金）にワークショップが開催されます。参加するには事前登録が必要です。

詳細：<https://www.icoldmexico2026.com/copia-de-cursos-cortos-1>

(1) 5 月 28 日（木）終日：鉱滓ダムのガバナンスと管理（Bulletin 194）

(2) 5 月 28 日（木）午後：RCC ダム - 設計と施工

(3) 5 月 29 日（金）午前：ダム堆砂問題の最新技術

(4) 5 月 29 日（金）午後：フィルダムの洪水吐 - 設計と施工

(5) 5月29日(金) 終日：鉦滓ダムのリスクに基づく設計と意思決定及びダムの安全

## 7. シティツアーと文化体験ツアー

期間中にグアダハラ旧市街ツアーと文化体験ツアーが用意されています。参加するには事前登録が必要です。

詳細：<https://www.icoldmexico2026.com/copia-de-tours-1>

(1) 日時： 5月23日(土) 及び 24日(日) 9:45～夕方

ツアー名： シティツアー - グアダハラ旧市街 観光ツアー

参加料： 登録料に含む

メキシコ・ハリスコ州グアダハラは歴史地区は、街の文化的・建築的中心地です。石畳の通りや歴史ある広場は、荘厳なグアダハラ大聖堂やデゴジャード劇場など、印象的な植民地時代の建築によって美しく飾られています。

この地区には、ホセ・クレメンテ・オロスコの壁画で知られるカバーニャス文化施設など、魅力的な博物館もあり、カフェ、レストラン、ショップが立ち並ぶ活気ある文化シーンも楽しめます。歴史が息づくこの街では、伝統と芸術、そして現代の感性が溶け合い、心まで温まるにぎやかな空気の中で、唯一無二の体験があなたを待っています。

(2) 日時： 5月23日(土) 及び 24日(日) 17:00～20:00

ツアー名： シティツアー - グアダハラ旧市街 午後の全景ツアー

参加料： 登録料に含む

グアダハラ・ルート：歴史地区や大聖堂、オスピシオ・カバーニャス、サン・フアン・デ・ディオス市場などを巡り、街の多彩な魅力を体感します。

トラケパケ・ルート：メキシコで最も愛される「プエブロ・マヒコ（魔法の町）」のひとつで、民芸品、ギャラリー、マリアッチ音楽、そして伝統料理をお楽しみいただけます。ここでは下車し、自由時間に地元の料理を味わったり、メインストリート沿いでショッピングをお楽しみください。

(3) 日時： 5月26日(火) 9:45～夕方

ツアー名： テキーラツアー - クエルボ・ワールド

参加料： 早割 USD278.4(42,901) 通常 USD313.2(48,264)

テキーラは、メキシコ、観光庁が認定する「プエブロ・マヒコ（魔法の町）」に指定されている魅力あふれる町で、メキシコ・ハリスコ州に位置し、国民的なお酒であるテキーラの発祥地として有名です。

石畳の道に並ぶカラフルな植民地時代の家々と、存在感たっぷりのテキーラ蒸留所が、この町ならではの特別な魅力を生み出しています。蒸留所ツアーでテキーラの製造工程を学べるだけでなく、博物館の見学や地元料理の試食、町を囲むアガベ畑の美しい景観も楽しむことができます。

テキーラの町は、メキシコの中で本物の文化体験を味わえる場所として、多くの旅行者を魅了しています。

(4) 日時： 5月27日(水) 10:00～夕方

ツアー名： トラケパケ - アルチザン（職人）の道

参加料： 早割 USD203(31,282) 通常 USD243.6(37,539)

トラケパケは、メキシコ・ハリスコ州にある魅力あふれるプエブロ・マヒコで、活気ある芸術と文化の街として知られています。

石畳の通りには、色とりどりの工芸品店やアートギャラリー、そして地元の職人たちが美しい陶器、吹きガラス、織物を手作業で制作している工房が軒を連ねています。

訪れる人々は、趣ある広場を散策しながら、生演奏の音楽を楽しんだり、伝統的なレストランで美味しい郷土料理を味わったりすることができます。

素朴で温かみのある雰囲気と豊かな文化遺産にあふれるトラケパケは、その本物の魅力と美しさで多くの旅行者を魅了しています。

**(5) 日時： 5月28日(木) 9:30～15:30**

**ツアー名： チャパラとアヒヒクー ー 漁師のふるさと**

**参加料： 早割 USD203(31,282) 通常 USD243.6(37,539)**

メキシコ・ハリスコ州にあるチャパラ湖畔は、風光明媚なチャパラ湖に沿って広がる、穏やかで魅力的な観光地です。美しい景観と穏やかな気候に恵まれ、多くの人々を惹きつけています。

アヒヒクやチャパラといった湖畔の町々では、自然と文化、アウトドアの魅力がうまく調和し、訪れる人々に多彩な体験をもたらしています。観光客は、湖でのボートライドを楽しんだり、地元のアートギャラリーを巡ったり、湖畔のレストランで郷土料理を味わったり、趣のある広場でゆっくり過ごすことができます。

のんびりとした雰囲気と美しい景色に包まれたチャパラ湖畔は、都会の喧騒を離れて、自然の静けさに浸りたい人にとって理想的な場所です。

## 8. ソーシャルイベント

歓迎会            日時： 5月25日(月) 夕刻

場所： 技術展示会場

文化行事        日時： 5月26日(火) 夕刻

場所： 未発表

送別会           日時： 5月28日(木) 夕刻

場所： 未発表

## 9. 若手技術者（YPF）向けイベント

グアダハラでの YPF プログラムは、若手技術者や研究者向けに多彩な活動を用意しています。主な内容は以下の通りです。

- ・ YPF ワークショップ：ダム工学における最新の技術的・環境的課題についての対話型セッション
- ・ メンターとのランチミーティング：ICOLD 委員会のシニア専門家との直接交流の場
- ・ YPF ミーティング：前期の振り返り、新理事会の選出、若手専門家向けの今後の計画やイニシアティブの発表
- ・ YPF 市内ツアー&交流会：グアダラハラの街を探索しながら、世界中の仲間たちと交流
- ・ YPF 懇親会：国際 YPF メンバーのつながりを強める交流イベント

## 10. プレ・ポストスタディツアー

年次例会に併せてプレ・ポストスタディツアーが有料で用意されています。参加するには事前登録が必要です。ツアー詳細は別添資料をご参照ください。プレツアー参加料及びポストツアー詳細は未発表です。

プレツアー詳細：<https://www.icoldmexico2026.com/copia-de-excursiones-t%C3%A9cnicas>

### プレツアー1 メキシコシティの本質：遺産・技術・伝統（4日間）

日程： 5月16日(土)～20日(水)

首都メキシコシティの代表的な名所を満喫したい参加者や同伴者のために企画された特別ツアーです。

4日間にわたり、以下のような名所を訪問します。

- ・歴史地区（ソカロ広場、大聖堂、テンプロ・マヨール）およびグアダルupes寺院の見学
- ・テオティワカンで太陽のピラミッドと月のピラミッドを探索し、ラ・シウダデラ市場で工芸品を堪能
- ・コヨアカン地区の魅力を感じながら、ソチミルコの運河をトラヒネラ船で遊覧
- ・最終日はチャプルテペック城と国立人類学博物館を訪れ、歴史・眺望・国を代表する貴重な展示を楽しめます
- ・旅程中には、象徴的なレストランでの代表的なメキシコ料理体験も含まれます。

【含まれる内容】

- ・メキシコシティでの4泊（プレジデnte・インターコンチネンタルまたはバルセロ・レフォルマ） 2名1室利用
- ・朝食4回、昼食4回（3コースメニュー/ビュッフェ/ファミリースタイル、ドリンク2杯付き）
- ・期間中の送迎
- ・バイリンガルガイド
- ・入場料、音声ガイド機器、ミネラルウォーター

【含まれないもの】

- ・航空券
- ・ドライバー/ガイドへのチップ
- ・個人的な買い物

**プレツアー2 メキシコシティの名所と味覚：テオティワカン、バシリカ、そしてポランコ（3日間）**

日程：5月17日（日）～20日（水）

首都メキシコシティの魅力を3日間で凝縮して味わえる、参加者・同伴者向けの洗練されたプレツアーです。

旅程では次のような体験をご用意しています。

- ・歴史地区（ソカロ広場周辺）およびグアダルupes寺院の見学
  - ・テオティワカン（神々の都市）での遺跡観光、さらにラ・シウダデラ市場での伝統的な料理と工芸品を体験
  - ・最終日には、スーマヤ美術館で世界的なアートを鑑賞し、名物タコスを食べた後、ポランコ地区のマサリク通りで午後のショッピングを満喫します
- 専用送迎付きの行程で、バイリンガルガイドが同行し、メキシコを代表する食文化もお楽しみいただけます。

【含まれる内容】

- ・メキシコシティでの3泊（プレジデnte・インターコンチネンタル または バルセロ・レフォルマ） 2名1室利用
- ・朝食3回
- ・昼食3回（3コースメニュー/ビュッフェ/ファミリースタイル、ドリンク2杯付き）
- ・日ごとの専用送迎
- ・バイリンガルガイド/スタッフ
- ・各施設の入場料、音声ガイド機器、ミネラルウォーター

【含まれないもの】

- ・航空券
- ・ドライバー/ガイドへのチップ
- ・個人的な買い物

**プレツアー3 メキシコの本質：歴史・芸術・伝統（2日間）**

日程：5月18日（月）～20日（水）

短期間でメキシコシティの魅力を存分に味わえる、忘れられない旅へご案内します。

1 日目は、ユネスコ世界遺産にも登録されている歴史地区を散策。荘厳なソカロ広場、メトロポリタン大聖堂、そしてテンプロ・マヨールを訪れた後、国の精神的中心ともいえるグアダルーペ寺院を見学します。

2 日目は市の南部へ。芸術家フリーダ・カーロの「青の家（カサ・アスール）」があるコヨアカン地区のボヘミアンな雰囲気を楽しみ、続いてソチミルコの水路で音楽と花、伝統料理に囲まれながらトラヒネラ（伝統的な小舟）で遊覧します。

歴史・芸術・食文化・そして生きた伝統を、短期間で満喫したい方にぴったりのプログラムです。

【含まれる内容】

- ・メキシコシティでの 2 泊（プレジデнте・インターコンチネンタル または バルセロ・レフォルマ） 2 名 1 室利用
- ・朝食 2 回
- ・昼食 2 回（3 コースメニューまたはファミリースタイル、ドリンク 2 杯付き）
- ・専用送迎
- ・バイリンガルガイド
- ・各施設の入場料、音声ガイド機器、ミネラルウォーター 2 本/日

【含まれないもの】

- ・航空券
- ・チップ
- ・個人的な買い物

## 11. オフィシャルホテル

オフィシャルホテルが以下の通り用意されています。いずれも会場周辺です。オフィシャルホテルを、メキシコ事務局を通じて予約する場合の宿泊料は以下の通りです。

| ホテル名 |                                                                                                                                              | 1 名利用<br>宿泊料/泊 (USD)                       |
|------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------|
| 1    | <b>Hotel Barcelo Guadalajara 31 m<sup>2</sup></b><br>バルセロ グアダラハラ<br>① キングサイズ・スーペリアシングルルーム<br>② キングサイズ・スーペリアダブルルーム                            | ①②<br>USD142(21,882)<br>朝食なし               |
| 2    | <b>City Express Plus by Marriott Expo Guadalajara 27 m<sup>2</sup></b><br>シティエクスプレス プラス バイ マリオットグアダラハラ<br>① クイーンサイズシングルルーム<br>② ツインベッドダブルルーム | ①USD117(18,029)<br>②USD125(19,263)<br>朝食込み |
| 3    | <b>IBIS GUADALAJARA 16 m<sup>2</sup></b><br>イビス グアダラハラ<br>① シングルルーム<br>② ダブルルーム                                                              | ①USD115(17,722)<br>②USD131(20,187)<br>朝食込み |
| 4    | <b>Hotel Westin Guadalajara 38 m<sup>2</sup></b><br>ウェスティン グアダラハラ<br>① デラックスキングシングルルーム<br>② デラックスクイーンダブルルーム                                  | ①②<br>USD207(31,899)<br>朝食なし               |



予約サイト：<https://bookings-icold-mexico-26.com/>

ご予約の際、宿泊料はクレジットカード決済または送金にてお支払いください。  
現在（11/19 時点）、予約サイトでは 5 月 30 日のチェックアウトが選択できません。5 月 30 日チェックアウトをご希望の方は、メキシコ事務局オフィシャルホテル担当の Carlos Aguirre 氏（[caguirre@tycgroup.com](mailto:caguirre@tycgroup.com)）までお問い合わせください。

#### 【キャンセルポリシー】

2026 年 2 月 26 日までは全額返金。以降は全宿泊料金（+税金）のペナルティ料金が発生するため返金不可。

サッカーワールドカップの関連イベントの為、ホテルは早期に満室になる可能性があります。ご注意ください。

## 12. 参加登録手続き方法

年次例会に参加するには ICOLD2026 ウェブサイトにおいて参加登録を行う必要があります。登録手続きは以下の 2 つの方法があります。（2）は JCOLD 事務局が有料にて代行します。

「申込フォーム」は当会議ウェブサイト <http://jcold.or.jp/j/activity/> からダウンロードしてください。

ご希望のツアーは満席となる可能性がありますので、早めのご登録をおすすめいたします。なお、シンポジウム発表者の登録期限は 12 月 15 日（月）に設定されていますので、それまでに登録をお願いいたします。

### （1）個人で参加登録を行い、登録料の支払いをする（クレジットカード払い）

- ① 以下の URL より参加登録登録を行い、登録料の支払いを行ってください。

<https://www.icoldmexico2026.com/copia-de-registro>

- ② お手続き後、申込フォームに必要事項をご記入の上



JCOLD 事務局 (secretariat@jcold.or.jp) まで送付してください。  
クレジットカード払いの場合、4%の為替手数料が上乗せされます。

(2) JCOLD 事務局が参加登録及び登録料の送金を代行する

(注：割引等の特典はありません)

- ① 申込フォームに必要事項をご記入の上、JCOLD 事務局まで送付してください。
- ② 登録料は JCOLD がまとめてメキシコ大ダム会議事務局に送金し、後日、送金レートに基づいて円換算した金額を下記登録手数料とともに日本円にて各法人・会社に請求いたします。基本的に年次例会終了後に請求いたしますが、ご都合に合わせて対応可能です。また、JCOLD 事務局に登録代行を依頼され、メキシコ事務局経由でオフィシャルホテルをご予約される場合は、同様に JCOLD 事務局にてホテル予約も代行いたします。

登録代行手数料/名

|           |          |
|-----------|----------|
| JCOLD 会員  | 10,000 円 |
| JCOLD 非会員 | 20,000 円 |
| 同伴者登録     | 無料       |

JCOLD 事務局へ登録代行を依頼する場合の申込フォーム送付期限

|           |                         |
|-----------|-------------------------|
| シンポジウム発表者 | 2025 年 12 月 8 日 (月) まで  |
| 早割登録希望者   | 2025 年 12 月 22 日 (月) まで |
| 通常登録希望者   | 2026 年 4 月 15 日 (水) まで  |

登録代行依頼がこれ以降になる場合はご相談ください。

なお、メキシコ入国に際してはビザの取得は不要です。

13. JCOLD 提携旅行会社

フライト及び宿泊ホテルの手配を旅行会社ブルス・トラベルに依頼される方は、下記担当者に直接お申し付けください。

ブルス・トラベル株式会社

担当： 三浦 辰夫

Email： miura@bruce-travel.com

Tel： 03-3766-8881

以上